

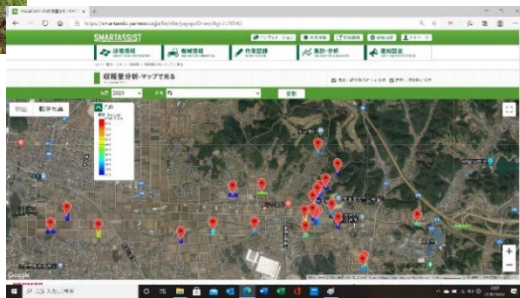
経営体の概要

- ・所在地：岐阜県美濃加茂市
- ・経営体名：有限会社春見ライス
- ・栽培作物・作付面積：水稲80ha
うち作業受託（水稲収穫）55ha
- ・従業員数：常勤11名（男性9名、女性2名）、パート（令和5年9月現在）

導入技術

- ・収量計測ICT対応型コンバイン（ヤンマー製、YH5101A）
- ・スマートアシストのほ場管理システム、稼働情報管理ツール、作業記録管理ツール（ヤンマー製）

収量計測ICT対応型コンバイン
タンク内の籾重量を運転席で
確認可能



スマートアシストとコンバインとの連動で、ほ場別の収量を可視化

導入経緯

- 当経営体では収穫から乾燥調整までの作業を行っているが、①籾運搬車の待機時間の発生、②コンテナの籾量がバラバラであるため乾燥機への張込作業に時間を取られる、③乾燥機の籾の充填率にバラつきがある、④作業記録作成に時間が取られる、などの課題があった
- そこで収穫・乾燥の一連作業の時間短縮化を目的に、令和2年に計量機能付ICT対応型コンバイン及びスマートアシストを導入した
（県単：スマート農業技術実証農場設置事業）

取組の特徴・効果

- コンバインオペレーターと補助作業員がクラウド上でリアルタイムに情報共有を行えるため、籾運搬車の待機時間が大幅に減少
【補助員の待機時間】 63分/ha→24分/ha
- コンテナへの籾投入量が分かるため、乾燥機へのコンテナ投入選択作業時間が減少
【籾コンテナ選択時間】 233秒/回→15秒/回
- 乾燥機への籾の充填率が改善
【乾燥機の籾充填率】 約80%→100%
- 作業記録が自動的に作成されるため、日報作成の時間が不要となり、労働時間が縮減
- ほ場別の収穫量が画面で一覧に確認できるため、今後の栽培管理に活用
- 収穫・乾燥の時間の短縮化が図られ、従業員も省力化を実感